

JIS

人間工学—視覚表示装置を用いる オフィス作業—ワークステーションの レイアウト及び姿勢の要求事項

JIS Z 8515 : 2002

(ISO 9241-5 : 1998)

(JES/JSA)

(2007 確認)

平成 14 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本人間工学会 (JES) / 財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 9241-5 : 1998, Ergonomic requirements for office work with visual display terminals (VDTs) — Part 5 : Workstation layout and postural requirements を基礎として用いた。

JIS Z 8515 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (参考) ワークステーションの設計及び選定に必要な人体寸法測定値

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14.1.20

官 報 公 示：平成 14.1.21

原 案 作 成 者：日本人間工学会 (〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目10-9 ランディック第2赤坂ビル TEL 03-3587-0278)
財団法人日本規格協会 (〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局標準課 環境生活標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
3.1 観視角 (angle of view)	2
3.2 人体寸法測定 (anthropometry)	2
3.3 ひじ掛け (armrest)	2
3.4 背もたれ (back rest)	2
3.5 キャスター (castor)	2
3.6 設計基準姿勢 (design reference posture)	2
3.7 偏位 (deviation)	2
3.8 動的姿勢 (dynamic posture)	2
3.9 伸展 (extension)	2
3.10 屈曲 (flexion)	2
3.11 光沢 (gloss)	2
3.12 光沢度 (gloss unit)	2
3.13 せき(脊)柱後湾 (kyphosis)	2
3.14 対象ユーザー群 (intended user population)	2
3.15 視線角 (line-of-sight angle)	2
3.16 せき(脊)柱前湾 (lordosis)	2
3.17 腰部 (lumbar)	2
3.18 しつか(膝窩) (popliteal)	2
3.19 姿勢 (posture)	2
3.20 基準面 (reference plane)	2
3.21 静的姿勢 (static posture)	2
3.22 タスク分析 (task analysis)	2
3.23 作業場 (workplace)	2
3.24 作業空間 (work space)	3
3.25 作業面 (worksurface)	3
3.26 ワークステーション (workstation)	3
4. 指針とする原則	3
4.1 一般的な配慮	3
4.2 はん(汎)用性及び柔軟性	3
4.3 適合性	3
4.4 姿勢変化	4

4.5 ユーザーへの情報	4
4.6 保守性及び適応性	4
5. 設計の要求事項及び推奨事項	4
5.1 一般	4
5.2 姿勢	4
5.2.1 設計基準姿勢	4
5.2.2 座位姿勢	8
5.2.3 立位姿勢及び座位・立位姿勢	8
5.3 調節の容易さ	8
5.4 作業面	9
5.4.1 一般的な推奨事項	9
5.4.2 作業面の下のクリアランス	9
5.4.3 視距離及び観視角	9
5.4.4 作業面の仕上げ	10
5.4.5 ワークステーションの安全性及び安定性	10
5.4.6 接触表面への体熱損失	11
5.5 いす	11
5.5.1 一般的な配慮	11
5.5.2 適合性に関する要素	11
5.5.2.1 適切な設計要素	11
5.5.2.2 座面高	11
5.5.2.3 座面奥行き	11
5.5.2.4 座面幅	12
5.5.3 座位の動的側面	12
5.5.3.1 適切な設計要素	12
5.5.3.2 座面角度	12
5.5.3.3 座面及び背もたれの動き	12
5.5.3.4 キャスター	12
5.5.3.5 回転機構	12
5.5.4 背の支持	12
5.5.5 ひじの支持	12
5.6 その他の支援用具	13
5.6.1 原稿台	13
5.6.2 フットレスト	13
5.6.3 手・手首・前腕の支持	13
5.6.4 表示装置用の回転アーム及び高さ調節の附属品を備えたワークステーション	14
5.7 作業空間内でのワークステーションのレイアウト	14
5.7.1 一般的な配慮	14
5.7.2 配線管理	15

6. 適合	15
7. 測定	15
7.1 作業面	15
7.2 ワークステーションの安全性及び安定性	15
7.3 座面高	15
7.4 キャスター	15
7.5 作業空間内でのワークステーションのレイアウト	15
附属書 A(参考) ワークステーションの設計及び選定に必要な人体寸法測定値	16
解説	24

白 紙

人間工学—視覚表示装置を用いるオフィス作業— ワークステーションのレイアウト及び姿勢の要求事項

Ergonomics—Office work with visual display terminals (VDTs)— Workstation layout and postural requirements

序文 この規格は、1998年に第1版として発行された **ISO 9241-5**, Ergonomic requirements for office work with visual display terminals (VDTs)—Part 5: Workstation layout and postural requirements を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“参考”は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、VDTを使用するオフィス作業のためのワークステーションの装備に関するユーザーの要求事項、設計及び調達に適用する人間工学の指針について規定する。

特に、この規格で規定する一般的指針と要求事項は、作業場を構成する家具や装置の設計標準として適用する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21**に基づき、IDT（一致している）とする。

ISO 9241-5 : 1998, Ergonomic requirements for office work with visual display terminals (VDTs)—Part 5: Workstation layout and postural requirements (IDT)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 8512 人間工学—視覚表示装置を用いるオフィス作業—仕事の要求事項についての指針

備考 **ISO 9241-2** : 1992, Ergonomic requirements for office work with visual display terminals (VDTs)—Part 2: Guidance on task requirements が、この規格と一致している。

JIS Z 8513 人間工学—視覚表示装置を用いるオフィス作業—視覚表示装置の要求事項

備考 **ISO 9241-3** : 1992, Ergonomic requirements for office work with visual display terminals (VDTs)—Part 3: Visual display requirements からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

ISO 6385 : 1981, Ergonomic principles in the design of work systems

ISO 9241-6 : 1999, Ergonomic requirements for office work with visual display terminals (VDTs)—Part 6: Guidance on the work environment